

令和元年度第1回仙北地域協議会会議録

令和元年5月20日

仙北地域協議会

令和元年度第1回仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■報告	3
(1) 平成30年度地域枠予算採択状況及び 令和元年度地域枠予算額について	3
■協議	3
(1) 地域枠予算にについて	3
(2) 仙北地域振興計画の進捗状況について	18
(3) 地域協議会分科会について	18
■その他	19
■閉会	19
■署名	19

令和元年度 第1回仙北地域協議会 会議録

■日 時：令和元年5月20日（月） 午後6時

■会 場：さくまろ館 大研修室

■出席委員：11名

大 釜 滝 浩、大 河 奈々子、草 薊 美 香、後 藤 孝 子
佐 藤 あや子、佐 藤 美佐子、佐 藤 隆 造、中 村 健 秀
原 隆 新、森 元 通 友、吉 田 利 雄

■欠席委員：5名

石 田 常 盤、小 柳 伸 一、小 松 郁 子、タベルスキ マイケル
藤 原 稔

■出席職員：8名

藤嶋 勝広（仙北支所長）	熊谷 直栄（文化財保護課長）
高橋 明子（市民サービス課長）	佐藤 治彦（農林建設課長）
小松 暢子（仙北公民館長）	佐藤 湊（仙北公民館主事）
佐々木 勝二（地域活性化推進室主査）	川原 文人（地域活性化推進室主任）

■次 第：

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 支所長あいさつ・職員紹介
 - 4 会議録署名委員の指名
 - 5 報 告
 - 6 協 議
 - 7 そ の 他
 - 8 閉 会
-

(午後 6時 開会)

○吉田会長（以下「会長」と表記）

どうも、お晩でございます。大変お疲れの中のご参会ということで、ご案内申し上げましたところ、ご出席いただきましてありがとうございました。今、司会の方からもお話あったんですが、年号が変わって第1回目の協議会ということでございます。年号が変わっても、地域には何らあまり大きい影響はないというふうに思いますが、国民の一人としてやはり新しい天皇陛下のもとでこの地域の発展に寄与していきたいと思っています。みなさんも同じような気持ちでいるだろう、と思っているところでございます。

今日もまた限られた時間での会議でございますので、挨拶はそこそこにさせていただきますけれども、今日も12本の地域枠予算の申請があるようでございます。本当に限られた時間での忌憚のない意見を交換しながら、進めてまいりたいと思いますので、どうぞひとつよろしくお願い申し上げまして、簡単でございますが挨拶に代えます。今日は本当にご苦労様でございます。

○藤嶋支所長（以下「支所長」と表記）

お晩でございます。春の農作業も最盛期ということで、欠席されていらっしゃる方もおりますけれども、会長の挨拶にもありましたとおり、令和最初の地域協議会ということで、よろしくお祈りしたいと思います。

平成の時代は、日本国は戦争の無い平和な時代だったことは確かなんでしょうが、それに代わって地震や、水害などの自然災害の脅威にさらされた時代だった気もしております。

この令和の時代が、平和で安心して暮らせるような、大きな災害のない時代で終われるよう、皆様と共にお祈りをいたしたいと思います。

はじめに、委員の辞任についてご報告をさせていただきます。

平成29年度から30年度まで委員としていろいろご難儀をおかけしました、小須田頭委員が、ご自身の一身上の都合ということで3月の地域協議会後に辞任されております。辞任されましても、仙北地域とはこの後も関わりを持って頑張っていただけのもので期待しているところでございます。

いずれ、17名の定員が1名減の状況ということになっておりますが、任期もう1年残している、というところでございます。委員を補充せずに1名減のまま16名の体制で進めて参りたいと考えておりますので、どうかご理解とご協力をお願いしたいと思います。

今日の案件としては、報告案件が1件と、地域枠予算をはじめとする議事案件が3件となっておりますが、私からは「地域協議会の分科会」についてお話しさせていただきます。

地域協議会の役割は、大きくいって2つあるわけですが、ひとつめは、例えば、地域枠予算や地域公共交通などの、市から求められた案件について審議すること。ふたつめは、例えば地域の皆さんが日常生活の中で改善が必要と感じていることや地域の活性化策な

ど、自主的に審議が必要とした案件を審議することあります。

現状では、定例の協議会では、市から意見を求められた地域枠予算などのひとつ目の役割にばかり時間が割かれていることから、このふたつめの役割が十分ではないと感じおります。

そこで、地域の課題や活性化の案などを、委員の皆さんから自由に話していただける場を設けることで、地域の課題解決のための意見書の提出、意見書の提出までいかなくても、地域枠予算を活用した課題解決や地域活性化に資する事業の実施に繋げてまいりたいということで、今年度から、分科会を設けたいと考えております。

私たちの暮らすこの仙北地域を、将来にわたって安心して暮らせる、住んでいてよかったと思っただけの活気のある地域として、次の世代に残していけるように、皆様からも活発な意見交換をお願いいたしたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

併せて、職員紹介も、ということですのでお手元に配布しております名簿に従って紹介させていただきます。

○職員紹介

○会長

それでは、議事に入る前に、会議録署名委員を指名させていただきたいと思っております。後藤孝子委員と佐藤あや子委員をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。それでは、報告に入らせていただきます。説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

- ・平成30年度 地域枠予算執行状況及び令和元年度 地域枠予算額について

○会長

この件につきまして、みなさんからご意見をいただきたいと思っておりますが、これは執行したという報告ですので、ご理解いただけるものでないかな、と思っておりますが、いかがでしょうか。よろしいですか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

それでは、7番の議事に入らせていただきます。（1）の地域枠予算について、でございます。資料2を見ていただきながら進めてまいりたいと思っております。

それでは、No. 1「首都圏仙北町ふるさと会応援事業」について、これはみなさんに事前に書面決議をしていただいた案件ですが、この件について報告願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

- ・市民主導型

№. 1 首都圏仙北町ふるさと会応援事業」

事業目的：首都圏仙北町ふるさと会は、会員の高齢化が進み、新規会員の入会も少ないため、年々会員が減ってきている。そのような状況で、地元仙北からふるさと会に参加している者や地元特産品・グルメ等の提供者で「ふるさと会を応援する会」を組織し、首都圏ふるさと会活動の活性化に寄与することを目的とする。今年度はふるさと会設立25周年であるため、地元と首都圏で応援事業を2回実施する。

申請団体：首都圏仙北町ふるさと会を史跡の里から応援する会

申請額：300,000円（補助金）

委員からの意見の紹介。

- ・後藤孝子委員：懐かしいふるさとに足を運ばれ、また首都圏に出向き、応援し懐かしいふるさとの交流や味をきっと楽しみにしている事と思います。大いにおもてなしをしていただきたいと思います。
- ・中村健秀委員：仙北町を応援していただくため、ふるさと会の更なる発展を祈念します。
- ・小柳伸一委員：仙北地域と首都圏を結ぶ重要な活動なので、今後も活発な活動をしてほしいと思う。

○会長

ありがとうございました。100%の賛成でしたか。

○事務局（地域活性化推進室）

はい。

○会長

というようなことで、異議なしの賛成ということで採択されているようですので、付け加えさせていただきます。この№. 1についてはいかがでしょうか。よろしいですか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

それでは次に、プレゼンテーションがございます。№. 5の池田家の件について、お願いします。

○熊谷文化財保護課長

配布資料に基づき説明。

- ・市民主導型

№. 5 「池田文太郎翁傳増刷事業」

事業目的：平成25年3月に、大仙市が地域枠予算を活用して『池田文太郎翁伝』を発行したが、残部がない状況であるため、増刷することにより顕彰活動の継続を図ることを目的とする。

申請団体：池田家顕彰会

申請額：300,000円（補助金）

○会長

ありがとうございました。ただいまプレゼンテーションで、趣旨についてお話いただきましたが、みなさんからご意見をいただきたいと思います。何かございますか。

○佐藤あや子委員

配布だけで、一般の販売はないのですか。もし欲しい人がいた時に。

○熊谷文化財保護課長

地域枠予算を財源として製作しますので、売るということは基本的に考えていないんですけども、ご要望のある方には無料で配布したいと思います。地域枠予算を活用して情報発信していく、ということを目的に考えていますので、有償というのは考えていません。

○会長

その他、ございませんか。

○熊谷 文化財保護課長

補足ですが、仮に、顕彰会さんが自分達の手持ちのお金で刷ることができれば、それを有償で売ってもいいことになるとは思いますが、やはりこういった本を作るということは、ある程度まとまった金額が必要になりますので、こういった地域枠予算を利用していかないとなかなか任意団体でこういった本を何百冊出すというのは、現実的には難しいのかな、と思います。つきましては、こちらの補助金を活用させていただくことで増刷したいと考えています。

○会長

平成25年から作成して今までもったということでしょうかから、課長が話したように、またその後継承していく、ということだと思いますけども。その他ございませんか。なければ、決議に入りたいと思いますが、いかがでしょうか。提案された内容をご理解いただけたものとさせていただいてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

それではみなさんからご理解いただいたものとさせていただきます。ありがとうございました。

（説明者退席）

○会長

それでは、もう1件プレゼンテーションがございます。みなさんの資料に提示してござ

いますが、No. 12「仙北中学校吹奏楽部楽器補修」について、保護者会から提示されてございますので、プレゼンテーションをお願いいたします。

○仙北中学校保護者会長 笠原基嗣 氏

配布資料に基づき説明。

- ・市民協働型

No. 12「仙北中学校吹奏楽部楽器補修」

事業目的：仙北中学校吹奏楽部では学校内の活動に留まらず、あじさいコーラスやふれあいオーケストラと合同で地域一体となった演奏活動を行なっている。しかし、所有する楽器が長年の使用により劣化・破損し、演奏活動が困難となってきた。使用する楽器の一部を補修・購入することで、地域と関わる演奏活動をこれからも継続していきたい。

申請団体：仙北中学校吹奏楽部保護者会

申請額：239,583円（補助金）

○会長

ありがとうございました。ただいま、プレゼンテーションをいただきましたけれども、内容について質問があれば、伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

○中村健秀副会長

この買うものは、これまではなかった、ということでしょうか。

○笠原氏

修繕不可能ということですか。

○中村健秀副会長

ご父兄の皆さんにご負担いただいているということで、それさえも申し訳ない感じがするのですが、皆さんが協力して購入していただければ、こちらでも協力していただいた方がいいと思います。

○会長

森元委員さん、ご意見ございませんか。

○森元通友委員

これを見て、金額が妥当なのかどうなのか、ということについては漠然として分からないですけども、仙北中学校は、音楽だけでなく、運動部も盛んで、私も運動部の親ということで、一端を荷う音楽、ということと、もうひとつ、世代を超えて交流できるということも音楽にあるので、ぜひこれから学校だけではなく地域のイベント等にも積極的に参

加していただけるのであれば、逆にこれがもしかしたら少ない金額なのかもしれないですけど、金額云々というよりも、こういったものはぜひ協力していけたらな、と私は思います。

○会長

今、中村委員さんと森元委員さんから、趣旨には賛成ということで、その他ご意見ございませんか。大河委員さん、いかがでしょうか。

○大河奈々子委員

実は、私の娘が吹奏楽部の部長を務めておりまして、この打楽器に関しては、打楽器を今がんばっている皆さんは、2月の大会で全県に行っております。とても頑張っておりますので、ぜひ、皆さんのお力をお借りして、地域の皆さんと演奏をして、子ども達の成長を見ていただきたいな、と思いますので、どうかよろしくお願いします。

○会長

おそらく、この和太鼓の尺七寸五分という革張りは、やはりこのぐらいはすると思います。この革自体を出すのが非常に大変だということで、鈴木太鼓さんも、材料を出すのに苦労していると思います。すぐ使えるものではないし、ある程度なめしてから時間を置かなければ出てこない、という商品内容だと思いますので、妥当な金額なのかな、と思います。

皆さんから伺ったところ、趣旨には賛成というようなお話のようでございますが、その他ご意見ございませんか。なければ、原案どおり承認させていただくということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございました。そうすれば、賛成していただいた、趣旨了承でございますので、よろしく願いいたします。

○笠原氏

ありがとうございました。

(説明者退席)

○会長

次のNo. 2に移ります。「花いっぱい運動」について、市民協働型の新規事業でございますが、説明願います。

○小松 仙北公民館長

配布資料に基づき説明。

・市民協働型

№. 2 「花いっぱい運動」

事業目的：仙北地域の老人クラブと婦人会の会員で組織するボランティア団体「あじさいキャンパス」が、みどり園の園児と協力しながら園庭に花を植え、仙北地域の景観の美化向上を図りながら、地位の世代を超えた交流を深めるため。

申請団体：あじさいキャンパス

申請額：40,845円（消耗品費）

○会長

ありがとうございました。ただいまの「花いっぱい運動」については、前年度まで、活動していた資金の調達が不能になってきた、ということで、地域枠予算を活用して運用していきたい、というような内容でございますが、この件についてご意見をいただきたいと思っております。佐藤美佐子委員さんいかがですか。

○佐藤美佐子委員

毎年、子ども達と一緒にやって、とてもいい事業だと思いますので、続けてもらいたいと思っております。

○会長

ありがとうございます。佐藤隆造委員さん、いかがですか。

○佐藤隆造委員

私も賛成です。

○会長

その他ございませんか。なければ、原案どおり承認させていただくことでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

ありがとうございました。それでは、№. 3について継続事業でございますが、これについて説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

・市民協働型

№. 3 「家族や地域をつなぐお手伝い」運動推進事業

事業目的：子どもたちの家庭内における家事のお手伝い習慣の定着を図り、地域の子どもの健全な成長を支援する。

申請団体：仙北地区園・小・中学校連絡協議会

申請額：98,712円（印刷製本費）

○会長

ありがとうございました。このNo. 3について皆さんからご意見をいただきたいと思っています。原委員さんいかがですか。

○原隆新委員

子どもたちの手伝う際に、目安というか、シールを貼るという目標になるので、すごくいいなと去年も思いましたし、今年も同じようにがんばろうかな、という意欲が湧くようなものなので、ぜひ継続してやっていただきたい、と思います。

○会長

ただいま、原委員さんからは、趣旨を伺って了承するというご意見でしたが、そのほかございませんか。大釜委員さん、いかがですか。

○大釜滝浩委員

去年も引き継ぎということでした承したいのですが、去年、事業の期待される効果、感想とかについては聴取していますか。良かった点とか何かあれば非常にいいな、と思うのですが。

○小松 仙北公民館長

資料の22ページにありますように、この事業は、青少年育成大仙市民会議仙北地域会議との共同で実施していたようです。市に申請している額と同額を青少年育成の方からも事業として持ち出しをさせていただいております。青少年育成会議のときにも話題になりましたが、このような、子どものがんばりを見える化したようなものがあるということは、家庭においても、親子間の良い関わりができる元になっているということで、意見が出されました。

○会長

おそらく、このことが話題になって、家族との会話も賑やかになってくると思います。子どもたちの働く意欲、お手伝いをする意欲が養われていくと思います。次回からは、評価についても一報を入れていただければ非常にありがたい、という委員の意見だと思います。

○大釜滝浩委員

カレンダーに「ふりかえり」という欄があるので、そこを紹介してもらいたい。

○中村健秀副会長

これは、提出とかしていないですか。

○会長

家族だけで活動するので、渡しきりだと思うが、学校の方に総括的な意見、活動報告という形で提示してもらえれば。

○支所長

地域枠予算は、申請して認められて、終われば実績報告書が提出されるので、この事業に限らず、実績報告書が提出された段階で、皆さんに報告があったということで、資料を紙ベースでお渡しして確認していただくことをやらせてもらって、それで足りないところは深く聞いてもらえればいいのか、と思います。

○会長

その辺を考慮していただければ、我々としてもありがたいという意見だと思います。

○支所長

申請して、最後に一覧表だけしか出ていない状況なので、報告書を紙でみなさんに確認していただくことも必要なのかなと思うので、検討しておきます。

○会長

よろしくお願いします。大釜委員、よろしいですか。

○大釜滝浩委員

はい。

○会長

それでは、申請どおりに了承ということにしたいと思います。次に、No. 4「大仙市商工会女性部仙北支所 環境美化事業」について、これは市民協働型でございます。説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

・市民協働型

No. 4 大仙市商工会女性部仙北支所 環境美化事業

事業目的：国道13号線（戸地谷川前地区）に花苗を植栽し、地域の環境美化を推進することで仙北地域への愛着を喚起すると共に、地域活動の活性化を図る。

申請団体：大仙市商工会女性部仙北支所

申請額：85,880円（消耗品費・使用料及び賃借料）

○会長

ありがとうございました。この件につきましては、継続事業ということで、長年活動していただいているものでございます。昨今は、交差点等での事故が非常に多かったですので、心の癒しとして美化運動は大切な時期にもきているのかな、と。これをやられる方は、大変ご難儀だと思いますが、そこを頑張って、癒される方が非常に多いと思いますし、私もその一人です。できれば、価値ある継続事業という認識を私はしていますが、皆さんはいかがでしょう。後藤孝子委員、いかがですか。

○後藤孝子委員

ちょうど信号のところなので、向かいの川前西地区の方も紫の花、十二単ですか、植えています、たくさん咲いています。向こうとこちらと仙北地区の入口でもありますので、ぜひ続けていただきたいと思います。水やりは大変だと思いますけれども。

○会長

管理は大変だと思いますが、癒されますので。佐藤あや子委員さん、いかがですか。

○佐藤あや子委員

地域の美化にもなりますし、継続事業なので、活動を続けていただきたいと思います。

○会長

皆さんは、頑張って続けてほしいという意見のようでございますが、その他ございませんか。意見がなければ、承認させていただくということでよろしいですか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございます。それでは、No. 4については承認したいと思います。

No. 6「史跡の里づくり事業」について、これも継続でございますが、説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

- ・地域イベント

No. 6 史跡の里づくり事業

事業目的：大仙市仙北地区を核とした地域の活性化と地域住民の交流を目指し、この地域の象徴である史跡を題材にまちづくりを行なう。

申請団体：史跡の里づくり委員会

申請額：1,400,000円（補助金）

○会長

はい、ありがとうございました。史跡の里づくり事業の地域イベント型ということでご

ざいます。以前は、支所で負担していた事業でしたが、地域枠予算で、という方向づけをした経緯もあると私は記憶してございますが、春夏秋冬で史跡の里づくりの事業として継続されていることは、皆さんご承知のとおりのことと思います。いかがでしょうか。草薨委員さんいかがですか。

○草薨孝子委員

それぞれの行事は、町民の皆様、子どもたちも楽しみにしているものなので、いいと思います。

○会長

ありがとうございます。佐藤隆造委員さん、いかがですか。

○佐藤隆造委員

難儀かけますけれども、毎年の行事だと思いますので、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。

○会長

ありがとうございました。2名の委員の皆さんからご意見いただきましたが、ぜひ頑張って継続してほしいというような応援メッセージもありますので、それを反映しながら、趣旨は了承したということで承認させていただいてもよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございました。それでは、提案どおり承認させていただくということで、次にN o. 7「仙北地域福祉施設慰問事業」について、市民主導型の継続事業です。説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

- ・市民主導型

N o. 7 仙北地域福祉施設慰問事業

事業目的： あじさいコーラスは数多くの定期演奏会に出演しているが、演奏会に来ることのできない高齢者へ歌の演奏を楽しんでもらうため、高齢者施設への慰問活動を以前より実施している。お年寄りの方々の気持ちが少しでも明るくなってほしいという目的で活動を行なう。

申請団体： あじさいコーラス

申請額： 50,000円（補助金）

○会長

はい、ありがとうございました。あじさいコーラスさんで長年、地域に対してのボラン

ティア活動のような内容でございます。私個人的には大変ご難儀をおかけしますが、ぜひ慰問等についての活動でございますので、皆さんからご理解いただければ、継続していただきたい事業の一つと願うところでございますが、皆さんからご意見があれば伺いたいと思います。中村委員さん、いかがですか。

○中村健秀副会長

楽しみに待っている方もいるということで、やりがいのある活動だと思いますので、ぜひ続けていただきたいと思います。

○会長

11月には東京のふるさと会で首都圏デビューするという事も聞いておりますので、活動を大いに期待したいと思います。皆さんからご理解いただいたものとさせていただきますのでよろしいですか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございました。それでは、原案どおり承認させていただくということでよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、No. 8でございます。

・市民協働型

No. 8 川前西地区環境美化事業

事業目的：戸地谷川前地区を通る国道13号線の川前地下道西出入口にある植栽スペースに花を植栽し、地域の環境美化意識の向上と地域活動の活性化を図る。

申請団体：川前西町内会

申請額：49,896円(消耗品費)

これも継続事業でございますが、市民協働型の、先ほどの商工会女性部実施の交差点の反対側の「川前西地区環境美化事業」でございます。当初、建設省OBの方々が活動して美化活動をやっていたのですが、年齢的に活動が大変だということもあり、川前西町内会で事業継続していただいている経緯のものである、と私は認識してございます。先ほども、後藤委員さんからもありましたが、きれいな花をさかしていますね、という話もありましたが、交差点で信号待ちしている間も花を見て、心がいくばくでも癒されることによって、安心・安全な運転につながるものだろう、ということで、皆さんからご理解いただければ、継続事業としてご理解いただければ、と思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

よろしいですか。ありがとうございます。それでは、趣旨は了承ということでよろしくお願ひしたいと思います。

次に、No. 9でございます。行政主導型ということで説明願ひします。

○事務局（市民サービス課長）

配布資料に基づき説明。

- ・行政主導型

№. 9 仙北地域版予算特集 編集発行事業

事業目的：仙北地域独自の事業や重点的に予算配分されている事業、地域住民の関心が高い事業などをピックアップし、広く地域住民に周知する。

申請者：仙北支所市民サービス課

申請額：70,200円（印刷製本費）

○会長

はい、ありがとうございました。これも継続事業ということで、55ページに記載されていますが、仙北地域の予算ということで、これを作成して毎戸に配布したい、ということでございます。別紙資料の、6月28日の市政懇談会に間に合うことでよろしいですか。

○高橋明子市民サービス課長

6月1日配布の広報と一緒に配布する予定です。

○会長

そうすれば、承認いただければ、市政懇談会にも間に合う、ということよろしいですね。

○高橋明子市民サービス課長

はい。

○会長

いかがでしょうか。今日承認していただくと、6月1日の広報配布に間に合うということです。

（「異議なし」の声あり）

異議なし、との声がございますが、よろしいですか。

（「はい」の声あり）

ありがとうございました。それでは、№. 9については、了承させていただくということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次の№. 10でございます、旧池田家庭園ライトアップイベント事業について、市民協働型でございます。説明願ひます。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

- ・市民協働型

№. 10 旧池田家庭園ライトアップイベント事業

事業目的：新緑の季節の「旧池田氏庭園本家庭園」と、鮮やかな黄色や朱色に色づいた「旧池田氏庭園弘田分家庭園」をライトアップして、観光誘客の拡大を図り、地元経済の活性化に繋げるため、旧池田氏庭園公開期間に合わせた着地型イベントを開催し、知名度アップを図る。

申請者：旧池田氏庭園ライトアップ委員会

申請額：1,291,015円（委託料、印刷製本費、需用費、使用料及び賃借料）

○会長

ただいま説明がございましたが、皆さんからご意見をいただきたいと思います。原委員さん、いかがでしょうか。

○原隆新委員

秋の分家のライトアップは、道路の方からもよく見えました。ジャズバンドが来るなど、イベントをやることで客層が厚くなるのかなと思いますので、頑張ってやっていただきたいと思います。

○会長

ありがとうございます。森元委員さんいかがですか。

○森元通友委員

分家の方のイベントについて、今年からグラウンドゴルフをやるということですが、これは今年初めてですか。

○支所長

一昨年、事業を仙北支所で実施するようになってから、グラウンドゴルフはやっております。今年で3回目です。

○森元通友委員

参加される方は、子どももいるものですか。

○支所長

子どももいます。

○森元通友委員

イベントに出店する側なのですが、引換券を渡された方々、子どもたちも多く来ます。店側としても来てくれて交換してくれることによって、売上げも上がりますし、子どもたちを連れてくる親も一緒に来るので、全体的な来場者が増えると思います。

○会長

その他、ございませんか。

○大釜滝浩委員

書類添付の、会員名簿ってありますか。

○支所長

会員名簿は提出してもらっていますが、今日の資料には載せていません。10名以上の団体になっています。

○会長

ジャズバンドの経費とか計上されていますか。

○支所長

演奏委託費で、それぞれ計上しています。

○会長

いろいろとご意見いただきましたけれども、いかがでしょうか。提案どおり承認させていただいてもよろしいですか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございました。それでは、提案どおり承認ということをお願いしたいと思います。

次のNo. 11でございますが、行政主導型でございます。提示ください。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

・行政主導型

No. 11 仙北地域協議会活性化分科会事業

事業目的：現状の仙北地域協議会では、委員全員を一同に集め、市から意見を求められた案件（地域枠予算審議等）に関する意見集約が中心となっており、会議時間も限られていることから、委員1人1人からの意見聞き取りや独自の知己課題に関する議論等が難しい状況となっている。そのため、協議会委員がグループごとに話しあう「分科会」を創設し、委員が議論しやすい環境を作る。

申請者：仙北支所地域活性化推進室

申請額：104,720円（報償費、旅費、手数料）

○会長

はい、ありがとうございました。地域協議会の今後の活動方向を見定めるための事業費

を捻出するというところで、行政主導型の地域枠予算の申請でございます。事業の目的・概要等については、いまお話があったところでございますが、佐藤隆造委員さん、いかがですか。

○佐藤隆造委員

分科会について、具体的なものが飲み込めなくて、これからいろいろ教えてもらって対応することになるかと思えますけども。

○支所長

普段皆さんが思っている、地域の将来でも現状でも何でもいいので、皆さんそれぞれ活動している中で、こういう課題あるとか、活性化の事業やりたいなど、ざっくばらんな意見交換の場というのも地域協議会の役割にあるが、今日も地域枠予算の審議ですでに1時間半かかっている。ここから、さっくばらんな意見交換と言っても、できないというのが現状だったものを、少人数のグループで意見を出してもらって、地域の将来・課題解決・活性化に結びつくようなヒントが出てくれば、それを具体的に地域枠予算を使うなどで地域の課題解決・活性化に結びつけると。もっと崇高な話が出てきたら、翌月の地域協議会に諮って、市に対して、こういうことをやってほしいなど提言するということもできる、そのような意見交換の場の中で、自由な考えを出してもらおう、というのが目的です。

○中村健秀副会長

他のところでもやっているところとかありますか。

○支所長

やっていないです。

○会長

その走りが仙北地域の未来を語る会だと私は認識していた。提案が上がってくるものに対する審議だけでなく、協議会として意見を吸い上げて、我々が委員として務めている中で、できることは提案しながら、地域にアピールして活動してもらおう、ということもひとつだと思えます。その土台を作っておかなくてはだめだ、ということも必要だと認識したところです。これからそのような方向性を出すためにも、スタートラインとして環境づくりも必要なのかな、私個人的には思います。

どのような活動方向が出てくるかは分かりませんが、地域枠予算を確保して、皆さんから知恵を出していただくというのが、行政の提案のようですが、この趣旨についてはいかがですか。大釜委員さん、いかがですか。

○大釜滝浩委員

やってみなければ…。

○会長

会議の中で方向性を見出していったって検討していくということで、まず予算枠を確保するというのでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

そのように、提案どおりに処理していきたいと思います。

地域枠予算については、皆さんからご理解いただきまして、議事の(1)地域枠予算については、審議を終了させていただきたいと思います。(2)の仙北地域振興計画の進捗状況について、提示ください。

○各課室館長

配布資料に基づき説明。

○会長

はい、ありがとうございました。振興計画の進捗状況ということで、説明いただいたところでございます。これがありきで動いているということで、皆さんからご理解いただけたものと思います。

次に移らせていただきますが、よろしいですか。それでは、(3)地域協議会分科会について、説明を求めます。

○事務局(地域活性化推進室)

配布資料に基づき説明。

○会長

ただいま、分科会についての説明がありましたけれども、協議事項について1から5番までありますが、どのような方向性を、ということを決議しますか。おまかせする、ということもできますが、分科会設置するということで皆さんからご理解いただいたと認識しましたが、ここで協議しても30分、1時間かかると思うので、ある程度皆さんから方向性やご意見いただいたものを、事務局で校正していただく、ということもあると思いますが。

この分科会の開催時間については皆さんどうですか。夜でいいですか。

○中村健秀副会長

分科会A・B・Cとなれば、その会によって時間とかも違ってくるものですか。

○支所長

日にちも時間も変わります。

○中村健秀副会長

夜じゃなくても、もうちょっと早い時間がいいと言え、それも可能ですか。

○会長

そのような方向もできるでしょうけども、召集する職員も、同じ日にやってもらった方が利便性はあると思います。夜開催ということで決めてもらえれば、それで動きが取れるということと、グループ分けが事務局案でいいのかということと、テーマについては、ある程度絞った、テーマを提示していただければ、と思います。

○支所長

案を作る段階では、協議するテーマを固めてしまうと、自由闊達な意見に結びつかないのかな、ということも考えられたので、ある程度テーマを絞り、それを中心とした意見交換はもちろん一番いいと思いますし、それ以外のことでも皆さんから意見を出してもらって、それをまとめて全体の協議会で紹介・報告する、という形でもいいと思うので、6月分科会では、それぞれのテーマを中心にした方が、取っ掛かりやすいだろう、ということですよ。

時間も時間ですので、テーマに関しては、吉田会長と事務局とご検討させていただくということで、いかがでしょうか。

○会長

おそらく、今日時間をかけても皆さんからご理解いただける内容まで到達できないと思うので、開催時間とグループについて、皆さんからご理解いただかなければ、事務局も大変だと思うので、開催時間は、今の時間でよろしいですか。

○大釜滝浩委員

私は何時でも。

(その他、了解の意見あり。)

○会長

そうすれば、協議会と同じ時間で開催するというので、時間帯についてはご理解いただいたこととして、グループ分けはどうですか。日程については、年2回ということやってみて、次年度変えるということもできるので。

事務局から提案されたA・B・Cのグループでスタートラインについて、協議してみるということでもよろしいですか。

(はいの声あり。)

そのようにご理解いただいた、ということで、分科会のグループリーダーや研修については、今後対応していくということでいかがでしょうか。

(はいの声あり。)

事務局の方もよろしいですか。

(はいの声あり。)

ありがとうございます。

今日予定した協議案件については、皆さんからご理解いただきながら終わることができました。その他、ということで何かございますか。

○高橋市民サービス課長

大仙市議会市政懇談会について、配布資料に基づき案内。

○会長

その他ございませんか。なければ、会を閉じてよろしいでしょうか。

大変貴重なご意見いただきまして、ありがとうございました。先ほど、皆さんからご理解いただいた内容で、事務局の方から分科会についてはご案内あるかと思いますので、ご理解いただきながら協議させていただくことをお願い申し上げて、協議会を閉じさせていただきます。ご苦労様でございました。

(午後 8時10分 閉会)

仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

後藤 孝子

佐藤 あや子
